

看護職員認知症対応力向上研修【3日間コース】プログラム（案）

1日目 基礎編：180分 対応力編：110分

時間		内容
9:30~10:50	80分	認知症施策の方向性について 認知症とは 疾主な認知症の原因(四大認知症) ・疾患ごとの大まかな特徴 中核症状とBPSD 認知症の治療 ・向精神薬使用の適切な判断 認知症のアセスメント ・せん妄について
10:50~11:30	40分	急性期病院における認知症の治療・ケア ・せん妄の予防・発見・対応 認知機能障害に配慮した身体管理 ・疼痛 ・栄養管理 ・感染予防・服薬管理 ・セルフケア指導・支援 認知症を考慮した退院調整 ・認知機能障害に配慮をしたコミュニケーション 治療同意と意思決定支援 BPSDを予防する環境調整 意思決定支援
11:30~12:50	80分	《演習》事例検討 Gワーク（60分） 発表（20分）
12:50~13:50	60分	昼休憩
13:50~15:00	70分	認知症の疫学 主な認知症の原因 ・アルツハイマー型認知症・血管性認知症 ・レビー小体型認知症・前頭側等型認知症 中核症状 ・記憶障害・見当識障害・実行機能障害・注意障害・失語・失行・失認 ・認知機能障害が及ぼす影響：易疲労性 治療薬の特徴
15:00~15:40	40分	BPSDとその対応 ・暴言暴力・妄想・抑うつ・睡眠障害・徘徊・焦燥 病院における認知症のアセスメント

2日目 対応力向上編：370分

時間		内容
9:30～10:30	60分	病院における認知症の治療・ケア <ul style="list-style-type: none"> ・患者との接し方の工夫 ・認知機能障害への対応 -記憶障害・視空間認知障害・実行機能障害- ・身体的苦痛(疼痛、食思不振・低栄養、感染)の緩和 ・その他の身体症状緩和(呼吸困難・吐き気・倦怠感) ・患者への心理的支援・告知、 ・家族・介護者への支援 ・非薬物療法 ・身体拘束
10:30～11:30	60分	せん妄 <ul style="list-style-type: none"> ・疫学と診断・せん妄の分類と臨床的特徴 ・せん妄の原因と影響を及ぼす主な薬剤 ・せん妄の発生要因・予防と診断・治療とケア
11:30～12:30	60分	休憩
12:30～14:00	90分	地域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・入院後の支援 ・多職種連携 ・退院支援、調整のプロセス ・退院後の生活支援 ・本人からの情報・本人以外からの情報 ・意思決定支援 ・社会資源
14:00～16:40	160分	《演習》事例検討 (認知症、せん妄) アセスメント・ケア計画立案 Gワーク (110分) 発表 (50分)

3日目 マネージメント：420分

時間		内容
9:00～10:30	90分	医療安全の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者の医療安全の現状と課題 ・医療安全を推進する方法 ・認知症患者の医療安全に関する知識を深めるシステムの構築 ・向精神薬の適正な使用 認知症ケアの充実と入院の長期化の回避 <ul style="list-style-type: none"> ・せん妄対策の構築 ・施設内における教育システムの構築 ・認知症・せん妄ケア充実の為の方策
10:40～11:30	50分	人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案について
11:30～12:30	60分	組織分析方法についてオリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・クロス SWOT 分析の方法 ・GW の進め方 ・グループ分け(病院単位に別れた方がよい)
12:30～13:30	60分	休憩
13:30～15:10	100分	《演習》 組織分析・マネージメント体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> Gワーク (70分) 発表 (30分)
15:10～16:40	90分	《演習》 研修実施計画立案・授業案 <ul style="list-style-type: none"> ・研修の企画、実施のポイント Gワーク (60分) 発表 (30分)
16:40～17:10	30分	修了証授与 閉会のあいさつ